

ウスキュダル・アタテュルク中学校

6月1日午後、ウスキュダル市にあるアタテュルク中学校（公立）を訪問し、5年生約50名の生徒に日本の紹介を行いました。日本に関する基礎知識の紹介では、総領事館職員の質問に多くの生徒が積極的に回答し、折り紙体験ではほぼ全員が自力で兜を完成させるなど、普段からクイズやパズルを積極的に導入し、楽しみながら学ぶ同校の教育方針が、生徒の様子に良く反映されていました。全プログラム終了後の質疑応答では生徒から日本に関する様々な質問が寄せられ、生徒の日本への興味関心を大いに促すきっかけとなる学校訪問になりました。



ウシュック学園ウスパルタクレ校

6月2日午後、アタテュルク国際空港近くのウシュック学園ウスパルタクレ校（私立）を訪問し、5～7年生約60名の生徒に日本の紹介を行いました。同校は語学教育に力を入れ、外国文化に触れる多くの教育プログラムを実施しています。日本に関する基礎知識の紹介では総領事館職員の質問に一発正答する生徒が続出し、日本クイズでは6グループ全ての正答率が80%を超えるなど、日頃の学習の成果が現れたプログラムでした。今回の訪問をきっかけに、一人一人の子どもたちがこれからも日本に興味を持ち続けてくれたらと願っています。

